

信頼と協同で築く組合員と地域の健康

あおぞら

No.98
2011.8.1 発行

●発行/高知県厚生農業協同組合連合会 ●編集/企画管理課 〒783-8509 高知県南国市明見字中野526-1
TEL 088-863-2181 (代表) FAX 088-863-2186 ホームページ <http://www.kouseiren.ja-kochi.or.jp>

JA高知厚生連
JA高知病院
JA高知健診センター
介護老人保健施設JAいなほ



平成23年度 新採用看護師

CONTENTS

- 2 **がん治療に新たな診療体制**
(外来化学療法センター、セカンドオピニオン、腫瘍内科)
- 3 **JAいなほ**
(島田施設長就任挨拶、納涼祭)
- 4 **健診センター**
(健診のなぜなぜ?)
- 5 **看護部**
(職場体験、実習生)
- 6 **夏を乗り切るレシピ・トピックス**
- 7 **災害支援体験記**
- 8 **お知らせ**



がん治療に向け

7月より

新たな診療体制

外来化学療法センター

23年7月から新しく外来化学療法センターを始めました。

がんに対する外来治療の最大のメリットは入院の場合に比べて社会生活が維持しやすく、仕事や家

事、趣味、スポーツなどを続けることが可能なことです。また入院生活に比べると、格段にご自身で自由に過ごしていただく時間を持つことができます。

当センターは専用の独立したスペースで、電動リクライニングチェア4台とベッド4台を備えています。その日の治療時間、体調、ご気分にあわせてどちらでもご利用いただけます。

腫瘍内科

腫瘍内科では、がん診断の一部とがん薬物療法（抗がん剤、分子標的薬など）、早期からの緩和療法を担います。そして外科手術、放射線照射などを併用した集中学的治療を、高知県内の関係医療機関と連携しながら行います。腫瘍内科では、がん薬物療法の経験が豊富なスタッフにより、患者さんひとりひとりが快適な社会生活を過ごしていただく

るよう、最適な治療を安全に提供することを目指しています。

セカンドオピニオン

外来

セカンドオピニオンとは、現在の自分の病状や治療方針について他の医師に意見を求めることをいいます。当院以外の病院からかかっている患者さんからのご要望に対して当院医師が対応します。プライベートに配慮しながら、患者さんご自身ならびにご家族の皆様からがん治療に関する疑問やご相談をお受けし、病状に合わせた治療法の受け方、がん治療への取り組み方や考え方などについて第三者的な立場から助言を行います。なお当院への転院が目的のご相談はセカンドオピニオン外来ではお取り扱いできません。セカンドオピニオン外来は保険診療外診療となります。完全予約制となりますので事前に地域医療連携室までご連絡ください。

外来化学療法センター

(毎週月曜日・木曜日)
外来化学療法センター長 多田浩也 (内科医長)
専従看護師 小野亜紀・末信友美子
専任薬剤師 森田祐加

腫瘍内科

月曜日 富本英樹 (内科医長)
火曜日 曾根三郎 (院長)
木曜日 多田浩也 (内科医長・外来化学療法センター長)

セカンドオピニオン

曾根三郎 (院長)
多田浩也 (内科医長・外来化学療法センター長)



電動リクライニングチェアでの治療のようす (外来化学療法センター)

詳しくは

ご自身やご家族ががんでお困りの方、がん診療に関する相談は地域医療連携室までお寄せください。詳細情報はホームページにも掲載しています。

TEL 088-863-8516

ホームページアドレス
<http://www.kouseiren.ja-kochi.or.jp/hospital/>



●地域医療連携室 左から大谷、小松、岩城

JA高知病院 併設に

医療と介護との

一層の連携を！



島田施設長

JAいなほ 施設長 島田 良昭
(JA高知病院 副院長)

7月より単独型老健施設から
病院併設型老健施設と事業体制の変更を行い、
JA高知病院との連携を今まで以上に
図ることを目的とし、
JAいなほの施設長(管理者)に
就任となりました。

介護老人保健施設 JAいなほ
は、JA高知厚生連の高齢者福祉
事業の一環として、平成18年4月
に開設され、厚生連事業としては
四国で初めての老健施設です。
高知県は高齢化率が25%を越え
る高齢者県であり、益々増え続け
る独居高齢者や老々介護・認々介
護の問題、家庭における介護力の
低下など、高齢者をとりまく生活
環境には多くの困難な状況があり
ます。今後の高知県高齢者推移を
見据えても介護施設の役割・医療
(病院)の役割を今まで以上に強
化することと共に地域ケアの構築
が重要となってきました。

私も職員一同は、心をひとつ
にして、高齢者の方々の尊厳を守
り「生きがいテーマに、実りあ
る生活を支援します」を基本理念
に掲げ、ふれあいを大切に心温ま
るサービスを第一に考えておりま
す。そして「住み慣れた地域、在
宅で暮らしたい」という当たり前
の願いを叶えるべく、リハビリを
中心に高齢者の方々を支援して
おります。
ご家族や地域の皆さま方との交
流を深め、愛され信頼される、ま
た地域に根差した施設を目指して
日夜努力しておりますので、今後
ともよろしくお願いいたします。

笑顔・親睦・交流をテーマに

納涼祭開催



7月17日(日)晴天の中、第5
回納涼祭を介護老人保健施設JA
いなほの南側駐車場・通所ホール
を利用し開催しました。

開催にあたって、ボランティアの
皆様、暑い中ご協力頂きました皆
様、ありがとうございます。

今回納涼祭では、出店10店・余
興3グループを用意し、利用者様
の笑顔・ご家族皆様との親睦・地
域の方々との交流と3大テーマを
掲げ開催しました。出店では、職
員が調理人となり焼きそば・四万
十ポーク・ところてん・ぶっかけう
どん等を愛情こめて調理しました。
当日は気温30度を超えた事もあ
り、利用者の皆様は日常飲むこと
の出来ないビールを飲み「うま

いっ!!」の声飛び交いその笑顔
は格別でした。

余興では納涼祭で定番となった
唄と踊りの夢一座ショー、一緒に
口ずさむ方々・手拍子を打ち目を
閉じ耳を傾ける方々と会場が温か
い空気に包まれ、プロの三味線流
しでは、日頃聞くことが出来ない
音色を奏でて頂きました。

最後は恒例の職員による余興、
今回はヒゲダンス・マルモ体操を
行い、笑いの渦とたくさん拍手
を会場から頂き無事に終わる事が
出来ました。



JAいなほ職員によるマルモ体操

来年の納涼祭でも、皆さまの笑
顔を楽しみ
に職員一同
お待ちしております
おきます。
暑い中來
場して頂い
た皆様、本
当にありが
とうござい
ました。

なぜ 健診の ?

なぜ 第4回

こんにちはJA高知健診センターです。
毎回、健診で行う検査項目ごとにお話しさせて
いただいておりますが、今回から血液検査の項目を
少しずつご説明させていただきます。

コレステロールって？

血液中の脂質（脂肪）には、中性脂肪、コレステロールなどがあります。血液中では脂質は「水と油」と言われるようにそのままでは溶けません。そのため、これらの脂質は「リポ蛋白」という水に溶けやすい「容器」の中に一緒に入って移動しています。この「リポ蛋白」の容器の名前に、CM（カイロミクロン）、VLDL（超低密度リポ蛋白）、LDL（低密度リポ蛋白）、HDL（高密度リポ蛋白）などがあります。

脂っこい食事とCM・お酒と甘い物とVLDL

脂肪分の多い食事をとり過ぎると、体内でCM（カイロミクロン）が増え太ります。この状態で運動もせずに糖分の多い食事やアルコールを過剰に摂取していると肝臓でVLDLが増えLDLの増加につながります。
LDLは肝臓で合成されたコレステロールを身体のすみずみに運

びますがこのLDLが過剰になると、血管の内膜にどんどん蓄積し、動脈硬化が進み、脳梗塞・心筋梗塞、慢性腎臓病（CKD）などの心・血管系の病気がおこります。そのため、「悪玉コレステロール」と言われています。反対にHDLは余分なコレステロールを体の各部から取り除き肝臓に回収してくれるので、「善玉コレステロール」と言われます。しかし、LDLが多すぎるとHDLがいくら頑張っても回収は追い付きません。

よく健診でコレステロールが高いから、コレステロールを多く含む食品を控えているという話をききますが、CMとVLDLを増やさないことが大切です。そのためには適度な有酸素運動をし、乳脂肪分の取り過ぎ・脂っこい食事や甘い物・アルコールの摂取過剰を控え、肥満を防ぐことが大事です。

参考文献

医学薬学のためのコア生化学

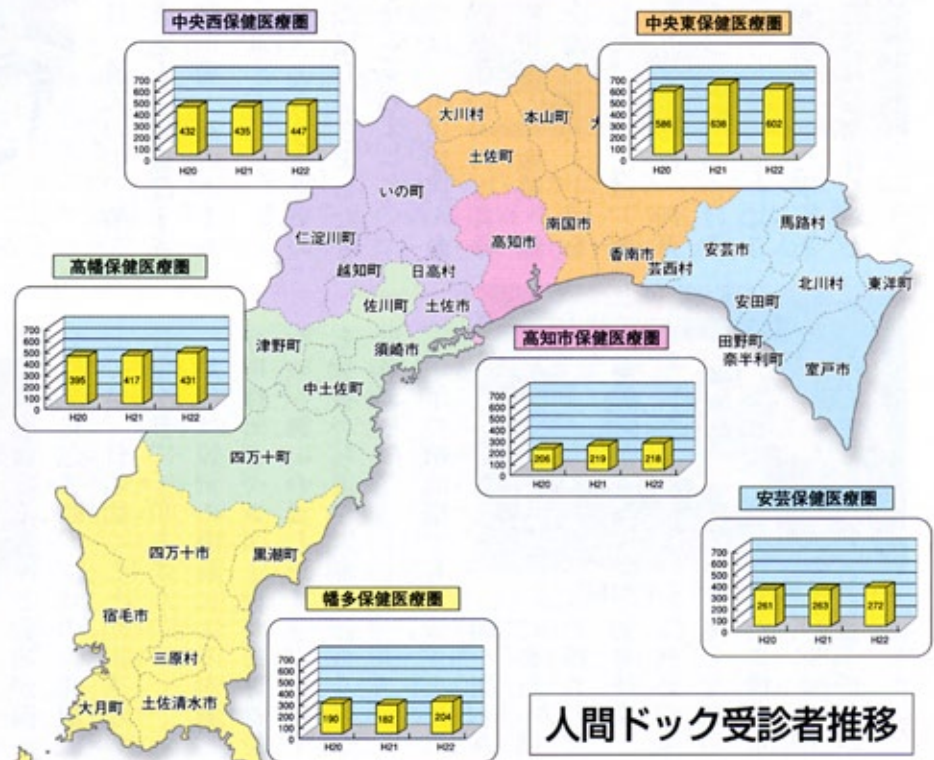
丸善株式会社

年に一度は人間ドックを

JA高知健診センターでは、JA組合員を中心に健康管理活動を行っています。中でも人間ドックは、年間5,000人以上の受診者があり、県下全域にわたっています。

中央圏での組合員受診者は1200人強を占めていますが、幡多、高幡などの遠隔地についても、年々受診者は増加しています。

今後も検査内容の充実を図りながら、取り組んでまいります。ぜひ皆様の健康管理に、JA高知健診センターをご活用ください。



人間ドック受診者推移



中学、高校生 職場体験

■進路選択のきっかけに

インターンシップ

「ふれあい看護体験」

少子高齢化による労働人口の減少は、高齢者の人口割合が高い高知県にとっては、特に大きな問題です。そして、看護師には7Kとも呼ばれる厳しい労働環境と看護師不足という問題が未解決のまま残されています。

看護師の仕事は、厳しい現実だけではなく、「人と人」が看護というかけがえのないつながりを持



つことのできる素晴らしい仕事でもあります。

「患者さんに『ありがとう』の一言を頂いた」「苦痛で顔を歪ませていた方がにつこりほほ笑んだ」などの些細な出来事にも大きな「やりがい」を感じることもできる素晴らしい職業です。中学生、高校生という多感な時期にこの「やりがい」に触れることは、生徒さんたちが将来の進路を選択する良いきっかけとなると思います。



ナイチンゲールの

たまごたちへ

看護学生臨床実習を通して

看護師の国家試験を受験するためには、大学の看護学科や看護専門学校などの看護師養成学校を卒業する必要があります。

現在これらの学校は、高知県内に10校があります。そのうちの4校の看護学生が臨床実習のために

当院に訪れます。

臨床実習とは、

教科書や

人工の教材による

学習ではなく、患

者さんと

直に接しながら、看護の基本的な

知識、技術、態度を習得する学習

方法です。毎年5月から2月にか

けて150〜160名の「ナイチンゲール

のたまご」達が、戸惑いと不安を

感じながらも先輩看護師の指導の

もとで経験を積んでいきます。J

A高知病院は、医療現場の厳しさと

看護を提供することでやりがい

を学生に伝え、高知で優秀な看護

師を育てるための努力をしています。

す。



夏を乗り切る

酢ものレシピ①

夏が本番となってきました。いよいよ本格的な暑さが始まり、これから夏祭りやよさこい等楽しいイベントが始まります。ただ同時に暑さで食欲が落ちてしまうことも……。そんな時は高知の人が大好きな酢の物がお勧めです。



栄養管理課 管理栄養士
山本 恵美

にらともやしの ポン酢和え



●材料（4人分）

- ニラ 2束（200g）
- もやし 1袋（200g）
- ツナ 小1缶（80g）
- 大根 適量
- 白ゴマ 大きじ1
- ポン酢 適量

- 1 ニラは5cm長さに切る。
もやしはきれいに洗ってひげ根を除く。
- 2 鍋に湯をわかし塩少々を加えて①を入れ、強火でさっと茹でて絞り、ザルに広げてさます。
- 3 ボウルに②の野菜とツナ、大根おろしをいれ、ポン酢で和え、器に盛り付けて白ゴマをふる。

レシピ提供：JA南国市園芸女性部

※当院でも患者様に提供し好評でした。ぜひ、おいしい酢の物で暑い高知の夏を乗り切ってください。

トピックス

第3回 在宅ホスピスボランティア養成講座

平成23年7月16日、17日の2日間、高知発がん患者支援プロジェクト主催の「第3回在宅ホスピスボランティア養成講座」に副看護部長 吉本、地域医療連携室 ソーシャルワーカー 小松、岩城が参加してきました。

コミュニケーションとスピリチュアルケアが中心の研修で、スピリチュアルケアの意味や意義について考えることが出来ました。がん患者や終末期の方はもちろん、病と闘っている患者さんにとって、相手と繋がるコミュニケーションやスピリチュアルケアは不安を表出させることや気持ちを落ち着かせる為に有効な方法であるということ、

コミュニケーションの取り方によって患者さんの気持ちや行動が変わるといふことの重要性を学びました。

今回の研修を通して、自分の存在が患者さんに安心案を与え、患者さんの苦痛に寄り添っていくことができるソーシャルワーカーになりたいと思いました。



医療安全研修会

医療安全管理委員会は7月14日(木)、院内コミュニティホールにおいて平成23年度第1回医療安全研修会を開催し、職員139名が参加しました。

研修会では、近藤副院長からJA高知病院における医療安全の理念および基本的な考え方、患者確認について、曾根病院長から全国の医療事故の傾向や安全な医療を提供するための10の要点についてそれぞれ詳しい説明を行いました。その後、各部署が身近な失敗事例を劇仕立てで発表し、それぞれの危険性を参加した職員全員で検討しました。



今回検討した事例
「思い込みは危険」薬剤部
「リハビリ中の転倒リスクについて～安全な対応方法を目指して～」リハビリテーション科
「あっ、目を間違えた」看護部

災害支援活動に参加して

管理部業務課 井沖 勝

6月20日。東京駅から東北新幹線やまびこで仙台へ向かう。仙台駅構内では照明がほとんど消されており暗い。外に出ると警視庁のパトカーが巡回している。杜（もり）の都仙台の雰囲気はない。

21日。初日の支援先、大曲地区に到着する。沿岸部から2kmの地区であるが、排水機能を失った側溝は汚水であふれ、虫が湧いている。60歳の農家のビニールハウスに入った。10cmを超えるヘドロで埋めつくされ異臭が漂う。暑さと



ヘドロの重さでの疲労で、作業は容易に進まない。午後、作業がもう少しで完了しようかという頃、激しい雷雨となり無念の作業終了となってしまった。ほうれん草栽培のハウス7割を失い、自宅も損壊した農家の方から感謝の言葉を頂いたが、その声に力はなく、最後まで笑顔は見られなかった。

22日。活動二日目。東松島市野蒜地区。傾いて止まったままの2両編成の電車を目の前に、農家のビニールハウスにてヘドロ除去及び処分物の撤去作業を行う。泥にまみれた水菜や自宅の子供服を処分する作業は胸が痛い。

川の河口と海に接したこの地区ではほとんどの家屋が流失し、わずかに残った家屋も損壊は激しい。JAの二階建ての支所も屋上のはるか上まで津波が襲ったとみられる。職員も亡くなったという。あまりに悲惨な状態に涙が出た。住民は一人もおらず、聞こえてくるのは波の音だけである。



23日。活動三日目。石巻市門脇地区。70歳の農家のビニールハウスにてヘドロの除去を行う。雨の中の作業だが、隊員全員が使命感に燃えており全く気にならない。予定より早く作業が完了したが、まだやりたいという声。う声。隊員のアチこちから出る。3日間、心をこめて活動させていただいた。少しではあるが、復興に向けての一助にはなれたかもしれない。しかしながら、被災地の農家の方々の喪失感、絶望感、私が思っていた以上に大きい。また20人の隊員で3日間活動しても、その量としては全体の僅かである。どの地区でも感じたことだが、人手不足と1mの地盤沈下等による衛生状態の悪さは深刻だ。長期的かつ早急な支援が必要である。

今回の支援活動で私はいたいへん貴重な経験をさせて頂いた。命の大切さ、普通に生きていくことの難しさや有難さ、そして津波の怖さ。これからの仕事や生活に活かさなくてはならない。

最終日の夜、仙台青葉通りを歩

いた。中暦にあたる8月7日には仙台七夕まつりが開催される。市民歌ともいわれる「青葉城恋唄」は今聴くととても悲しい。ふさわしい言葉が見つからないが、被災された農家の方々の一日も早い再開を祈るばかりである。

地域社会活動

JA高知厚生連では、地域の社会活動に、様々なかたちで取り組んでいます。

曾根 三郎（院長）

- 高知県災害医療対策中央支部会議委員
- 高知県医師会理事
- 土佐長岡郡医師会理事
- 日本医療マナー・マネジメント学会高知支部理事

島田 良昭（副院長）

- 南国市介護認定審査会委員
- 高知県国保団体連合会審査委員

本淨 謹士（小児科医長）

- 南国市心身障害児就学指導委員会委員
- 南国市母子保健事業検討会委員

小松 香代子（看護部長）

- 高知県災害医療対策中央支部会議委員
- 高知県災害医療ネットワーク委員
- 高知県新人看護職員研修推進事業検討委員会委員
- 南国市南香美保健医療福祉推進会議委員
- 南国市介護認定審査会委員
- 看護協会東部II地区支部会委員

中山 正（健診センター長）

- 高知県感染症診査協議会（結核部会）委員

前田 宣男（健康管理部長）

- 南国市国保運営協議会委員

80
ANNIVERSARY
JA高知病院

JA高知病院は創立80周年を迎えました。
地域医療へ、さらなる貢献を目指して—。



お知らせ

JA高知健康センターで人間ドックと
特定健康診査の同時受診を希望される方へ
「特定健康診査受診券」と「国民健康保険被保険者証（保険証）」をお持ちください。人間ドック受診料の一部が割引となります。詳しくはご加入の市町村国保係にお問い合わせください。

土佐長岡郡医師会主催講演会

高齢者の嚥下性肺炎の
予防と治療

- 日時
9月13日（火）
18時30分～20時30分
- 会場
JA高知厚生連コミュニティホール
- ミニ講演
「嚥下性肺炎をいかに治療するか」
演者：JA高知病院
呼吸器内科 診療部長
吉田 成二先生
- 特別講演
「口腔ケアの意義と実際」
演者：徳島大学歯学部教授
市川 哲雄先生

高知県東部
眼科セミナー

- 日時
9月1日（木） 18時30分
- 会場
JA高知厚生連コミュニティホール
- 座長
高知大学医学部 眼科学教室
教授 福島 敦樹先生
- ミニ講演
「近年需要の高まりつつある硝子体手術」
演者：JA高知病院 眼科
医長 松下 新悟先生
- 特別講演
「加齢黄斑変性に対する最新の治療法」
演者：徳島大学大学院
HBS研究部眼科学分野
教授 三田村 佳典先生

JA高知病院の
理念と基本方針

- 理念 私たちは、医療の安全を保証し、質を高め、心のこもったサービスを提供して、JA組合員をはじめ地域の皆さまに選ばれる病院であり続けます。
- 基本方針
- 私たちは、心の通う診察を行い、最先端の医療技術を用い、より早くより的確に診断します。
 - 私たちは、生命の尊厳を自覚し絶えず自己研鑽に努め、一人ひとりに適した治療を行います。
 - 私たちは、患者さまの生き方を尊重し、その方らしい自立を支援します。
 - 私たちは、安全で安らぎのある療養環境を整え、苦痛を和らげ、回復を助けます。